

令和8年度

# 水戸市立第四中学校 グラウンドデザイン

未来を切り拓く、新たな船出。



# なぜ、新しいデザインが必要か？



2つが融合し、**確かな「道しるべ」**が誕生。

**学校教育目標**



# 主体性と協働性の育成



**自ら考え、挑戦し、共に高め合いながら、未来を切り拓く生徒へ。**

# 【主体性】の定義



自分なりに思考する

自分の意志で決める

結果に責任を持つ

# 【協働性】の定義

**他者尊重**

あらゆる他者を  
「価値ある存在」  
とする

×

**多様性との  
協力**

多様な人々と  
力を合わせる

=

**社会を築く力**



# 推進の柱①：まなび育成



- 自ら学ぶ力（主体的な探究）
- 対話的で深い学び（共に高め合う）
- ICTの積極活用（未来の文房具）

# 推進の柱②：こころ育成



- 挑戦する心 (**GRIT**：最後までやり抜く力)
- 認め合う心 (他者へのリスペクト)
- 感謝する心 (豊かな人間性)

# 推進の柱③：からだ育成



- **健康的な生活習慣**（生涯の財産）
- **体力の向上**（力強く生きる土台）
- **安全意識**（自他の命を守る）

# めざす学校像



# 安心で活力ある学校

「安心」をすべての一丁目一番地に。  
教職員のマンパワーを最大化し、活力を生み出す。

# 共に、未来の海へ。

先行きが不透明で予測困難な時代。

だからこそ、保護者・地域の皆様とスクラムを組み、  
たくましく未来を切り拓く四中生を育てます。

ご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

# 補足

- ・ 国の方針

「令和の日本型学校教育の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（中央教育審議会、令和3年答申）」等で、核心部分として「これからの社会は、AIをはじめとする科学技術の急速な進展、感染症の拡大、自然災害、国際情勢の不安定化など、先行きが不透明で予測が困難な時代であり、いわゆる「Society5.0時代」においては、これまでのように正解を与えられるだけではなく、自ら考え、判断し、行動する力（主体性）と、多様な人々と協力して課題を解決する力（協働性）が不可欠となります。」と述べられている。

- ・ G R I T（やり抜く力）

**G**uts（ガッツ）：困難に立ち向かう度胸

**R**esilience（レジリエンス）：苦境にめげずに立ち直る復元力

**I**nitiative（イニシアチブ）：自ら目標を見つけて取り組む自発性

**T**enacity（テナシティ）：最後までやり遂げる執念